

武田先生と里山を歩こう会



2020年4月3日～2021年3月5日

武田先生と里山を歩こう会（2020年度年間スケジュール計画）

	行く先 [行事]	集 合	備考
4月 3日（金） [会員総会 含む]	「北山貯水池～甲山森林公園」 北山貯水池B.S～北山貯水池（総 会）～甲山森林公園～阪急仁川駅	J R 西宮駅・北口バスターミナル；10時10分 （阪神バス鷺林寺線－東回り10時17分発乗車 －北山貯水池；10時38分着－220円）	2019年度 実施ルート（半分） 歩行4km,高低差－200m
5月 8日（金）	「神戸市立森林植物園」	神戸電鉄北鈴蘭台駅；9時55分 （無料送迎バス10時05分発乗車）	新規
6月 5日（金）	「丸山湿原」 西谷の森公園口B.S～丸山湿原～西 谷の森公園口B.S	JR武田尾駅；10時25分 （阪急バス上佐曾利行き10時35分発乗車 －西谷の森公園口；10時45分着－340円）	2019年度実施ルート 歩行4～5km （トキノウ期待）
7月	「夏休み」	－	
8月 7日（金）	「剣谷湿原」 奥池B.S～観音山～剣谷湿原～ゴロ ゴロ岳～奥池B.S	J R 芦屋駅南口；9時20分 （阪急バス80番山口営業所前行き9時33分発乗車 －奥池；9時52分着－380円）	2019年度実施ルート 歩行5km,高低差±100m （サギソウには早いかな？）
9月 4日（金）	「押部谷～木津」 （6/5－A案採用の場合） 押部谷駅～天一神社～顕宗仁賢神 社 （～神戸環境未来館）～木津駅	神戸電鉄押部谷駅；10時00分	新規 歩行7km(10km) 途中神鉄駅へエスケープ可
10月 2日（金）	「中山寺奥の院」 中山観音駅～中山寺～奥の院～米 谷高原～清荒神～清荒神駅	阪急中山観音駅；9時30分	新規 歩行7km,高低差±300m
11月 6日（金）	「有馬富士公園」 新三田駅～有馬富士公園～新三田 駅	J R 新三田駅；10時00分	2019年度実施ルート 歩行4km
12月 4日（金）	「摂津峡」 上の口B.S～摂津峡～塚脇B.S	J R 高槻駅北バスのりば；10時05分 （高槻市バス54番上の口行き10時15分発乗 車－上ノ口10時35分着－220円）	新規（紅葉期待） 歩行4km,高低差-70m
1月	「冬休み」	－	
2月 5日（金）	「昆陽池公園」 昆陽池公園	阪急伊丹駅4番バス乗り場；10時10分 （伊丹市バス17番西野武庫川センター行き10時16分 発乗車－昆陽池公園前；10時23分着－210円）	新規 歩行2～3km
3月 5日（金）	「三木山森林公園」 （昼食；和食バイキングレストラ ン－1500円－飲み物別）	神戸電鉄恵比須駅；10時10分 （三木市バス59番三木営業所行き10時16分発乗車 －森林公園；10時24分着－210円）	2019年度実施ルート

武田先生と里山を歩こう会 (活動報告書)

報告者 鳥巢由美子

行先	神戸市立森林植物園 The Kobe Municipal Arboretum
日時・集合場所	2020年10月16日(金) 神戸電鉄北鈴蘭台駅、9時55分(無料送迎バス10時5分発乗車) 帰りは、14時50分発、無料送迎バス
入場料	大人300円(県内に居住、65歳以上公的機関証明書を提示すれば無料)
天気・参加人数・総歩数	曇りのち晴れ 武田先生と12名 約13000歩

- 目的地到着後、今年度初回の為、総会開催。規約の審議・決定。2019年度会計と2020年度予算計画(10月1日～3月31日)の報告。
- 園内の散策→シアトルの森(セコイアメスギ・ダイオウマツ・ダグラスファー等北アメリカ原産の樹木を植栽)で昼食→散策再開
- 起工80周年を迎えた森林植物園には、日本や世界の樹木が原産地別に約1200種展示されている。例えば、日本産樹林区は北日本区(シラカンバ・カラマツ・アカエゾマツ等)、針葉樹林区(コウヤマキ・ツガ・モミ等)、照葉樹林区(シイ・カシ類)

【感想】園の中央の長谷池は、ハスなど水辺の植物とモネの「水連」を真似た太鼓橋があり、モミジとススキがバランスよく配置され、絵画的な風景だった。郊外学習の小学生の団体もあり、久しぶりに会の皆様にお会いできたせいか?何となく遠足気分。王子動物園に行かなくてもニホンカモシカが見られて良かった。園内には野生のノウサギも生息しているらしい。ここはバードウォッチングも有名で、マミチャジナイのシャッターチャンスを待っている4~5人のグループもいた。正面玄関近くの森のカフェ&雑貨「ルビック」には、弓削牧場の製品が置いてあり、友達はソフトクリームを食べていたが、私は木いちごのジャムをお土産に買った。



マミチャジナイ

スズメ目ツグミ科ツグミ属
全長約21cm、雑食
(昆虫、多足類、果実等)



ダイオウマツ

マツ科マツ属
樹高30~40m 葉の長さ約30cm
3針葉 ※ちなみに日本の黒松、
赤松は2葉 五葉松は5葉

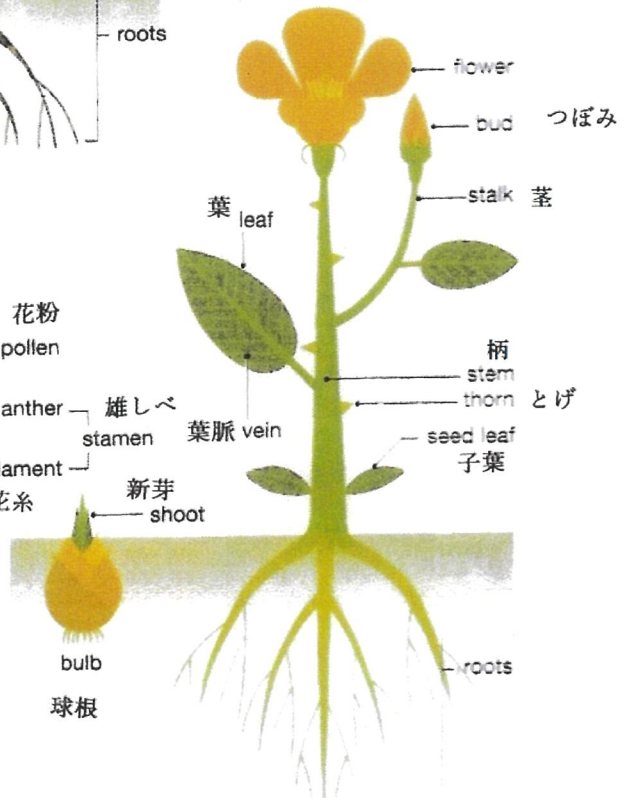
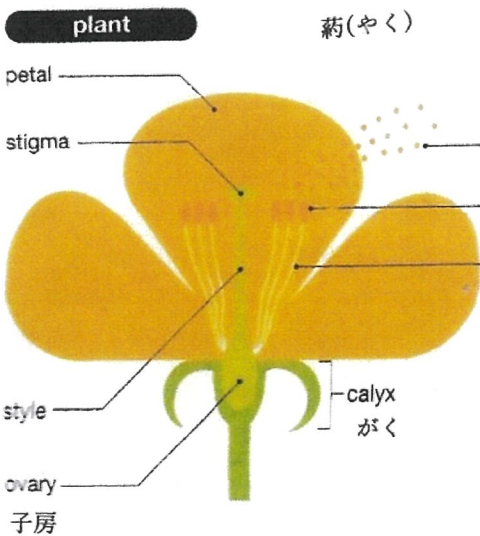
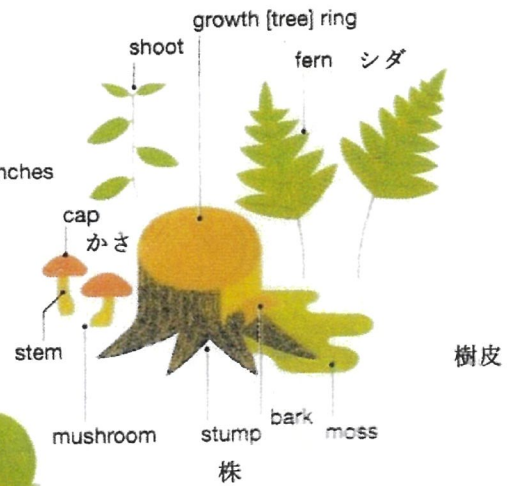
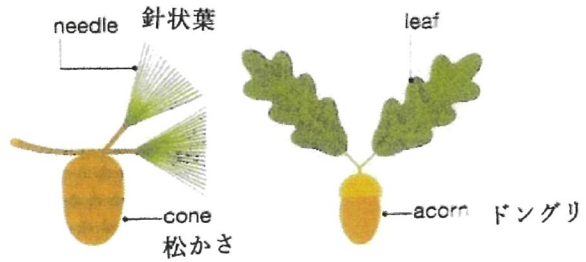
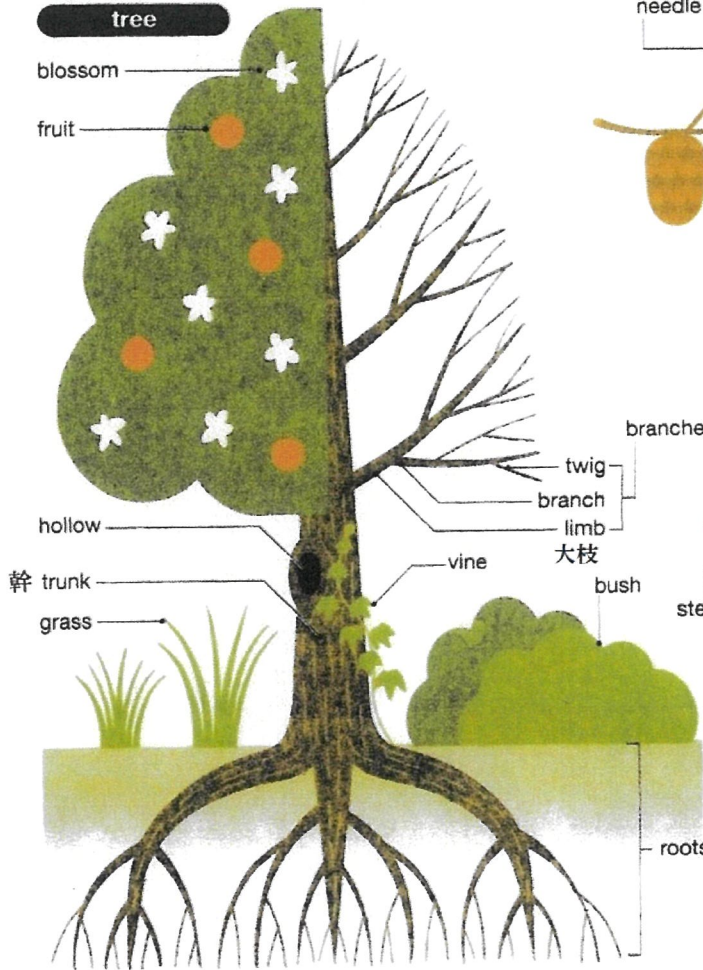


ニホンカモシカ

ウシ科カモシカ属
体長約110cm
単独生活(4頭まで)
草食動物



Let's study English



1	カツラ	カツラ科	カツラ属	落葉高木 雌雄異株 日本原産 秋に甘い香りを放ち美しく紅葉 葉(ハート形) 自生はブナ林域などの冷温帯の溪流などに生育
2	メタセコイア	ヒノキ科	メタセコイア属	落葉高木 1属1種 雌雄同株 葉(細長く対生) 「生きている化石」と呼ばれる 1954年四川省で生きている木発見
3	ラクショウ	ヒノキ科	ヌマスギ属	落葉針葉高木 北アメリカ原産 雌雄異株 葉(互生) 湿潤地に適し冠水で自生 膝根と呼ばれる気根が出る
4	カゴノキ	クスノキ科	ハマビワ属	常緑高木 雌雄異株 幹の樹皮(鹿の子模様) 葉(互生 薄い皮質で先の方が広い 裏面は灰褐色) 果実(翌年の8月頃赤熟)
5	ハクウンボク	エゴノキ科	エゴノキ属	落葉小高木 葉(20cm大きい 先端が突き出る) 花(真っ白な花を白雲のようにたくさんつける) 実(和ろうそくに利用) 将棋の駒
6	ハクサンボク	レンブクソウ科	ガマズミ属	常緑小高木 葉(15cm光沢あり「日照らしの異名」) 実(10月頃赤くたわわに熟す) 花(直径10cm白い集散花序) 伊勢神宮のものが有名
7	ヨシノアザミ	キク科	アザミ属	多年草 日本固有種 草丈70~200cm 名は発見者(吉野善介)に由来(羽状で深裂 葉面に白い筋) 花(葉の腋から出た枝に淡赤紫色)
8	シロヨメナ	キク科	シオン属	多年草 在来種 別名ヤマシロギク 草丈30~100cm 花(直径1.5~2cm 舌状花白色冠毛あり) 葉(ほとんど毛がない)
9	イナカギク	キク科	シオン属	多年草 45~85cm 在来種 花(舌状花白色 2cm 筒状花黄色 冠毛あり) 葉(白い軟毛を密生)
10	コバノガマズミ	ガマズミ科	ガマズミ属	落葉低木 在来種 葉(小型 葉柄が短い 両面に星状毛が密生) 花(4月白色 ガマズミより小さくてシベが飛び出る) 実(赤く熟す)
11	ミズビキノウ	タデ科	イヌタデ属	多年草 草丈30~80cm 紅白に見える花序が水引に似ることからの名 葉(初夏の頃「八」の字の模様が入る)
12	イヌタデ	タデ科	イヌタデ属	一年草 別名アカマンマ 草丈20~50cm 在来種 葉(互生) 花(長さ1~5cmの円柱状の総状花序に紅色の花を密につける)
13	ツノハシバミ	カバノキ科	ハシバミ属	落葉低木 雌雄同株 雌雄異花 実の形がツノ状のものがあることからの名 ヘーゼルナッツの仲間
14	キンミズヒキ	バラ科	キンミズヒキ属	多年草 草丈50~100cm 花(総状花序 小さくて黄色い穂状に密につける) 果実(棘あり 引っ付き虫) 葉(奇数羽状複葉)
15	メナモミ	キク科	メナモミ属	一年草 在来種 草丈60~120cm 葉(長毛が密につきピロード状) 頭花(直径2cm 黄色) 総苞片(腺毛が生えヒトデのよう)
16	チカラシバ	イネ科	チカラシバ属	多年草 在来種 暗紫色のブラシのような穂が特徴 茎(丈50~80cm) 根(非常に強いひげ根でなかなか引き抜けない) 鹿が食べない
17	ノコンギク	キク科	シオン属	多年草 野菊 草丈0.5~1m 頭花(直径2.5cm 舌状花紫色 管状花黄色) ともに長い冠毛あり 花柄短い 葉(ザラザラ)
18	ヨメナ	キク科	シオン属	多年草 野菊 草丈0.5~1m 頭花(直径2.5cm 淡青紫色 冠毛がごく短い 花柄が長い) 葉(つるつる)
19	ヤブラン	キジカクシ科	ヤブラン属	常緑多年草 草丈20~50cm 山野の薄暗いところに群生 花(葉の間から花茎を伸ばし小さな淡紫色の花を穂状に付ける) 黒い実
20	マルバハギ	マメ科	ハギ属	落葉低木 在来種 花柄が短く花が葉の間に咲いているように見える 葉(3出複葉 先がやや凹む) 花(紅紫色の蝶形)
21	スノキ	ツツジ科	スノキ属	落葉低木 葉を噛むと酸味があるため名 花(釣鐘状で可憐な花)果実(液果 黒紫色に熟す)
22	ヤマウルシ	ウルシ科	ウルシ属	落葉低木 雌雄異株 葉(奇数羽状複葉 下の葉ほど小さくなる 毛密生) 樹液(かぶれる) 葉軸(赤褐色) 紅葉は美しい
23	サザンカ	ツバキ科	ツバキ属	常緑広葉樹 日本固有種 花(ツバキと異なり花弁の基部は合着していないので花弁はバラバラに落ちる 開花時期10~12月)
24	ヒヨドリバナ	キク科	ヒヨドリバナ属	多年草 在来種 草丈1~2m 花(頭状花のみ) 葉(単葉で裂けない 短柄あり 対生) アサギマダラが吸蜜
25	フジバカマ	キク科	ヒヨドリバナ属	多年草 秋の七草 万葉集にも登場 中国原産 草丈1~1.5m 乾燥させると桜の葉のような良い匂い アサギマダラ 葉(下部は深裂)
26	アレチヌスビトハギ	マメ科	ヌスビトハギ属	一年草 北アメリカ原産 草丈1~1.5m 葉(3小葉 毛あり) 花(紫色) 果実(扁平 1~6個に分かれる カギ状の毛あり) 引っ付き虫
27	ヌスビトハギ	マメ科	ヌスビトハギ属	多年草 草丈0.6~1.2m 葉(3小葉 細かい毛あり) 花(淡紅色) 果実(1~3mmの柄あり 2個 カギ状の毛あり) 引っ付き虫
28	ネムノキ	マメ科	ネムノキ属	落葉高木 先駆種 葉(偶数羽状複葉 夜小葉が閉じる) 花(マメ科の特徴的な蝶形花と異なる) 根粒(バクテリアと共生)
29	ホソバイヌビワ	クワ科	イチジク属	落葉低木 雌雄異株 葉(互生 単葉 線形被針形 無毛) 花(花囊の内側に付く) 果実(径2cmの球形 黒紫色 可食) 白色の乳液
30	ナワシログミ	グミ科	グミ属	常緑低木 在来種 葉(皮質 緑は波打つようになる 裏は鱗状毛あり 銀白色) 果実(実は苗代の頃赤く熟す)

31	ムラサキシキブ	シソ科	ムラサキシキブ属	落葉低木 在来種 英名Japanese beautyberry 鮮やかな紫色の実が美しい コムラサキの方が園芸用として広く普及
32	ホウノキ	モクレン科	モクレン属	落葉高木 葉(長さ20cm以上 殺菌作用あり) 花(大型 原始的な特徴を受け継ぐ) 果実(紅色 10~15cm)
33	クリ	ブナ科	クリ属	落葉高木 別名シバグリ・ヤマグリ 雌雄同株 雌雄異花 最も古い栽培植物のひとつ
34	ツルアジサイ	アジサイ科	アジサイ属	落葉つる性木本 別名ゴトウヅル 北方系の種 アジサイに似た4個の白い装飾を咲かせる 似たイワガラミは装飾花1個
35	クサギ	シソ科	クサギ属	落葉小高木 葉(悪臭がある) 果実(青黒く光沢あり 果実のまわりの赤く星形のガクとのコントラストが美しい)
36	タラノキ	ウコギ科	タラノキ属	落葉低木 在来種 先駆種 葉(2回羽状複葉 互生) 枝(多数の棘あり) 若芽(タラノメ)
37	イヌガンソク	イワデンダ科	コウヤワラビ科	夏緑性シダ植物 栄養葉(単羽状複葉) 和名の由来は孢子葉がガンの足に似ているので付いた名 孢子葉は花材として利用
38	ハナタデ	タデ科	イヌタデ属	1年草 在来種 草丈30~60cm 山野の林内や林縁に生育 別名ヤブタデ イヌタデに似るがより繊細で花序がまばら
39	ヒメジソ	シソ科	イヌコウジュ属	1年草 在来種 草丈20~60cm 茎(4菱形 直立 下向きの毛あり) 葉(対生 浅い鋸歯) 花(淡紫色の唇形) イヌコウジュと似る
40	キツネノマゴ	キツネノマゴ科	キツネノマゴ属	1年草 在来種 草丈10~40cm 茎(4菱形 直立 下向きの毛あり) 葉(両面に毛あり) 花(淡紅紫色の唇形)
41	カルミア	ツツジ科	カルミア属	常緑低木 北アメリカとキューバに分布 別名アメリカシャクナゲ花(5角形の皿型)と蕾(金平糖のよう)の姿が特徴的
42	イロハモミジ	ムクロジ科	カエデ属	落葉高木 雌雄同株 紅葉の代表種 別名タカオカエデ 葉(掌状に深く5~7裂 鋸歯が粗く不揃い 小さい) 翼果(ブーメランのよう)
43	オオモミジ	ムクロジ科	カエデ属	落葉高木 在来種 雌雄同株 太平洋岸に分布 別名ヒロハモミジ 葉(イロハモミジより大きく鋸歯が揃っている 7つに裂ける)
44	ニオイヒバ	ヒノキ科	クロベ属	常緑針葉高木 北米東部原産 葉(レモンに似た芳香あり 十字対生 扁平な鱗片状 色は冬に褐色に変化する)
45	ユリノキ	モクレン科	ユリノキ属	落葉高木 米中部東部原産 別名ハンテンボク・チューリップツリー 葉(半纏に似る黄 葉が見事) 花(チューリップに似る)
46	モミジバフ	フウ科	フウ属	落葉高木 北米中米原産 別名アメリカフウ 雌雄同株 紅葉のグラウンテーションが楽しめる 葉(独特の臭気あり)
47	ウリハダカエデ	ムクロジ科	カエデ属	落葉高木 雌雄異株まれに同株 幹(若木は緑色で黒い斑 樹齢を重ねると別物になる) 葉(黄色から赤色に紅葉)
48	コウヤボウキ	キク科	コウヤボウキ属	落葉小低木 高さ60~100cm 葉(1年目の枝に付く葉は幅広い卵型 2年目の枝に付く葉は細長い) 花(1年目の茎にのみ1輪ずつ咲く)
49	ナガバノコウヤボウキ	キク科	コウヤボウキ属	落葉小低木 高さ50~120cm 葉(1年目の長枝に付く葉は幅広い卵型 2年目の枝に付く葉は輪生状に3~6個束生) 花(2年目の枝に)
50	ウド	ウコギ科	タラノキ属	多年草 高さ1~1.5m 若い葉や茎は香りが強く食用に ウドの大木(育ちすぎると食用にならず茎が柔らかいので材木にもならない)
51	コナラ	ブナ科	コナラ属	落葉広葉樹 雌雄同株 かつては薪炭林やシイタケ栽培の原木として繰り返し伐採されていた カシノナガキクムシによる被害多数
52	タカノツメ	ウコギ科	タカノツメ属	落葉高木 先駆種 雌雄異株 冬芽が鷹の爪を思わせるので付いた名 葉(3出複葉 束生) 黄葉
53	ヤブムラサキ	クマツヅラ科	ムラサキシキブ属	落葉低木 在来種 雌雄同株 花(葉の陰に下向きに付く) 枝・葉の裏・花序に毛が密生(ピロード状の手ざわり) 果実(紫色の球形)
54	ガマズミ	レンブクソウ科	ガマズミ属	落葉低木 昔から人々との関わりが深く方言も200を超える 葉(対生 両面に毛あり) 花(白色 独特の匂い) 果実(赤色 生食可)
55	アキノキリンソウ	キク科	アキノキリンソウ属	多年草 草丈30~80cm 日本固有種 別名アワダチソウ 葉(互生 上部と下部で形が異なる) 花(黄色い花を多数つける)
56	ヤマハギ	マメ科	ハギ属	落葉半低木 在来種 秋の七草 枝(垂れ下らず直立) 花(紫色の小さい花) 葉(クローバーのようなので英名Bush Clover)
57	ノリウツギ	アジサイ科	アジサイ属	落葉低木 樹液を和紙を漉くさいの糊とした アジサイの後に開花 葉(対生) 花(枝先に円錐状の花序を形成 両性花と白い装飾花)
58	ハマクサギ	クマツヅラ科?	ハマクサギ属	落葉小高木 南方系で海岸沿いの林縁に自生 葉や茎に独特の臭気あり 花(白からクリーム色) 実(クサギと違って黒い普通の実)
59	ガンクビソウ	キク科	ヤブタバコ属	多年草 草丈25~100cm 花(黄色の頭状花を横や下向きに付け、キセルの雁首に似ていることから名)
60	コアジサイ	アジサイ科	アジサイ属	落葉低木 別名シバアジサイ 日本原産 花(小さな散房状花序 装飾花無し青色の両性花のみ) 葉(対生 規則的で大きな鋸歯)

61	スズランノキ：その1	ツツジ科	オクシデンドルム属？	落葉高木 北米東部原産 花(スズランに似る芳香のある白い釣鐘状の花) 世界3大紅葉木(ニッサポク・ニシキギ)の1つ
62	スズランノキ：その2	ツツジ科	ゼノビア属	落葉低木 北米東部原産 花(スズランに似る芳香のある白い釣鐘状の花) 耐寒性は強いが夏の高温を嫌う
63	オランダボダイジュ	シナノキ科	シナノキ属	落葉高木 フコボタウジュとナツボタイジュの交配種 花(葉の脇から長く伸びた花序を出し芳香のある淡黄色の花) 葉(歪んだ心形)
64	クサボケ	バラ科	ボケ属	落葉低木 中国原産 枝(2m程になると横に広がって草状に立ち上がる) 花(葉の展開と同時3cm) 実(小型カリンのような黄色い実)
65	シラヤマギク	キク科	シオン属	多年草 草丈1~1.5m 別名ムコナ 花(白色 舌状花の数が少ないので隙間が透いて見える)
66	クマイチゴ	バラ科	キイチゴ属	落葉低木 茎(赤紫色 先端が曲がった棘) 葉(モミジ状) 花(白色で下向きに咲く 花弁と花弁の間に隙間あり) 果実(1cmの赤色球形)
67	アスナロ	ヒノキ科	アスナロ属	常緑針葉樹 日本固有種 雌雄同株 円錐形の樹形 葉(厚い鱗状 十字対生 裏に白い気孔帯) 殺菌作用のヒノキチオールが豊富
68	コウヤマキ	コウヤマキ科	コウヤマキ属	常緑針葉樹 日本固有種 雌雄同株 1科1属1種 葉(肉厚な線形)高野の六木の一つ 秋篠宮家悠仁親王のお印
69	モミ	マツ科	モミ属 Abies(アビエス)	常緑針葉樹 日本固有種 雌雄同株 雌雄異花 葉(細くて固い針状 先端は二又で鋭く尖る) 精油成分(消臭作用や抗菌作用あり)
70	トウヒ	マツ科	トウヒ属 Picea(ピケア)	常緑針葉樹 亜高山帯に分布 雌雄同株 葉(線形扁平 先端が尖らない) らせん状に付く 裏面気孔線が2本あり)
71	ツガ	マツ科	ツガ属 Tuga(ツガ)	常緑針葉樹 雌雄同株 葉(扁平な針状 葉先は尖らない 裏面気孔線が2本あり) 世界に10種、日本には本種とコメツガの2種あり
72	セイヨウサンザシ	バラ科	サンザシ属	落葉低木 ヨーロッパ原産 花(白色か薄紅色) 果実(赤色) 葉や花・実(生薬に利用) キリストの茨の冠 アメリカの国花
73	ツリバナ	ニシキギ科	ニシキギ属	落葉小高木 枝(当年枝は緑色で古い枝は紫褐色) 果実(鮮やかな紫紅色で5つに割れ、朱色の種を吊り下げる)
74	ミヤマガマズミ	ガマズミ科	ガマズミ属	落葉低木 雌雄同株 花・実・紅葉が美しい 近縁のガマズミより高い標高に多い ガマズミより葉・花小さい
75	コガクウツギ	アジサイ科	アジサイ属	落葉低木 日本固有種 枝(赤紫色) 花(枝先に3~4枚の白い装飾花と両性花が一緒に付く)
76	ウリカエデ	ムクロジ科	カエデ属	落葉小高木 雌雄異株 日本固有種 葉(対生 カエデの仲間で最も葉が小さい) 黄葉(ウリハダカエデは紅葉)
77	シュウブソウ	キク科	シオン属	多年草 在来種 草丈0.5~1m 秋分の頃に咲くのでこの名 地味な花なので見過ごす 葉(細長い楕円形 先が尖る 両面に固い毛)
78	ヒメコマツ	マツ科	マツ属	常緑針葉高木 在来種 別名ゴヨウマツ 雌雄同株 葉(5葉性 断面は三角形 気孔帯あり)
79	ヒノキ	ヒノキ科	ヒノキ属	常緑針葉高木 日本固有種 樹形(円錐形) 葉(十字対生 鱗片状 Y字に見える白い気孔帯) 建築材として最良 似てる木サワラ
80	キャラボク	イチイ科	イチイ属	常緑針葉樹 イチイの変種 雌雄異株 別名ダイセンキャラボク 葉(1~2cmの線形 不規則にらせん状につく) 赤い実(種子は有毒)
81	イチイ	イチイ科	イチイ属	常緑針葉樹 雌雄異株 樹形(円錐形) 葉(線形 枝に2列に並び 先端が尖るが痛くない) 赤い実(種子は有毒) 枝葉(薬用)
82	カラコギカエデ	ムクロジ科	カエデ属	落葉小高木 日本固有種 雌雄同株 樹皮(鹿の子模様)に 葉(対生 重鋸歯 紅葉) カノコギが訛ってカラコギに 類似種ネグンドカエデ
83	マテバシイ	ブナ科	マテバシイ属	常緑高木 日本固有種 雌雄同株 ドングリ(直径2~3cm 玩具に利用) クリに似た味) 葉(10~20cm 革質 寿命3年程)
84	シラカン	ブナ科	コナラ属	常緑高木 別名ホソバガシ・クロガシ 雌雄同株 樹皮(黒色) 葉(互生 5~12cm 細長く光沢あり) 材(固さと重さを誇る)
85	イタドリ	タデ科	ソバカズラ属	多年生植物 雌雄異株 別名スカンボ 草丈30~150cm 世界の侵略的外来種100の一つ 先駆植物 山菜 民間薬 遊び(イタドリ水車)
86	コヤスノキ	トラベ科	トラベ属	常緑低木 雌雄異株 分布が限定 外力によって健康な木が折られると折れた場所から新たな芽が出てくるので安産のお守りに
87	シロダモ	クスノキ科	シロダモ属	常緑高木 雌雄異株 葉(裏面が著しく白く蠟質で覆われる ちぎると特有の香り) 果肉や種の油は蠟燭の原料や灯火に使用
88	コウヨウザン	ヒノキ科	コウヨウザン属	常緑針葉樹 中国南部原産 雌雄同株 葉(先端が尖り触ると痛い 裏面に2本の気孔帯) 樹皮(杉に似る) 株元からのひこばえが多い
89	セイヨウバクチノキ	バラ科	サクラ属	常緑高木 ヨーロッパ東南原産 樹皮(バクチノキのように剥離しない) 幹(株立ち状 バクチノキは単幹) 葉(革質) 花(白色穂状)
90	サンシュ	ミズキ科		落葉小高木 中国原産 春先に葉の前に黄色い花を咲かせ、秋にグミに似た赤い実をつける 生薬・ジャム・シロップに利用

91	サンザシ	バラ科	サンザシ属	落葉低木 中国南部原産 小枝(棘あり)花(白い5弁花) 果実(赤色に熟す 生薬・酒・お菓子の原料)
92	ヤマハッカ	シソ科	ヤマハッカ属	多年草 在来種 草丈0.6~1m 茎(木質化した地下茎から直立 4稜形で下向きの毛) 花(青紫色 2唇形)
93	アカエゾマツ	マツ科	トウヒ属 Picea(ピケア)	常緑針葉樹 雌雄同株 エゾマツと共に北海道の木に指定 樹形(円錐形) 葉(横断面は菱形 4面に気孔帯あり) 本州では早池峰山のみ
94	ハクモクレン	モクレン科	モクレン属	中国南西部原産 葉(互生 先尖る) 花(斜め上向きに白色の花 雄蕊と雌蕊が螺旋状に多数つく 開花中は葉をつけない ガク3枚)
95	チドリノキ	ムクロジ科	カエデ属	落葉小高木 日本固有種 雌雄異株 果実の形を千鳥の翼に見立てて付いた名 葉(カエデのように裂けない サワシバに似る)



[武田先生と里山を歩こう会]

作成 2020年12月1日 担当 八田佳子 野村美智子

行先	有馬富士公園
活動実施日・天気	2020年11月6日(金) 晴れ20度
コース概要	新三田駅～有馬富士公園～新三田駅 8.5km
集合時間 解散時間	JR新三田駅:10時00分 解散15時
参加人数	15名
総歩数	約13000歩



実はナスの形で光沢ない。



岩場に生息。樟脳(しょうのう)に似た香りと成分。



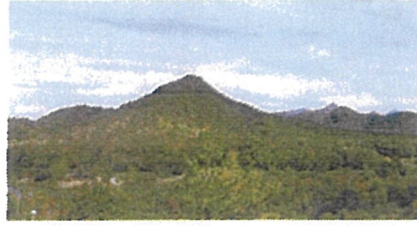
黒く小さい実。種は扁平で丸くアンモナイトの形。



水田耕作の放棄によりハンノキが生えやすい。実は待つぽっくりの形をしている。



クヌギの木に生えていたキクラゲ。(ぐにゆぐにゆのキクラゲ初めて見た)



展望テラスで
有馬富士を見ながら
お弁当



マコモダケ

中華料理に出てくる。
タケノコの食感



ネジキ (嫁の塗り箸)
幹がねじれている。
宮島ではしゃもじを作る
のに使った



ヒメガマの穂



火種になる



アキアカネ
見つけた



ヤナギタデ

川沿いに生えている
(刺身のつまになる)

コロナ禍でありましたが、里山の紅葉を求めて 有馬富士公園へ。
前回 (2020/3) の幹線沿いのスタート地点と異なり 里山の道を先生の説明を受けながら
進みました。
フレッシュなキクラゲ、寒くなってきた里山に産卵のためやってきたアキアカネ、植物はもとより
キノコや昆虫も見れて、大満足の日でした。



有馬富士



①カラスウリ



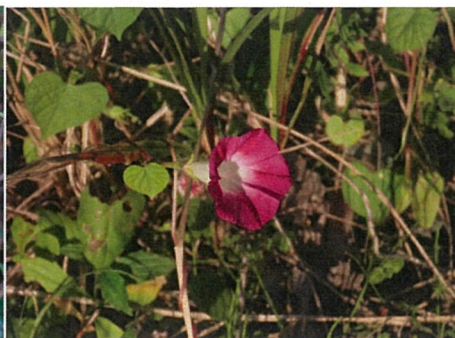
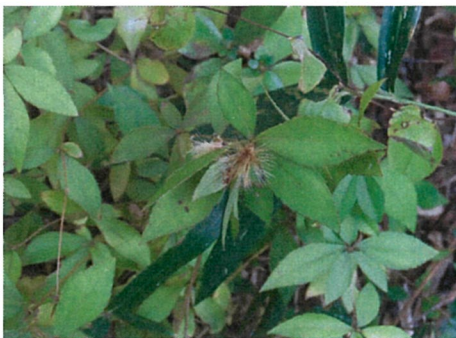
②ヒロハフウリンホウズキ



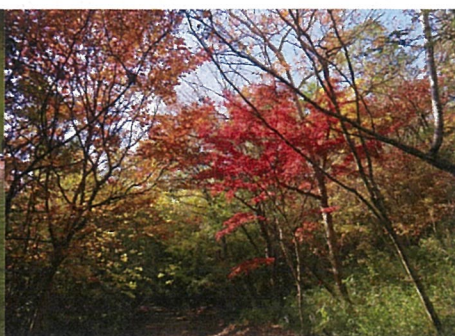
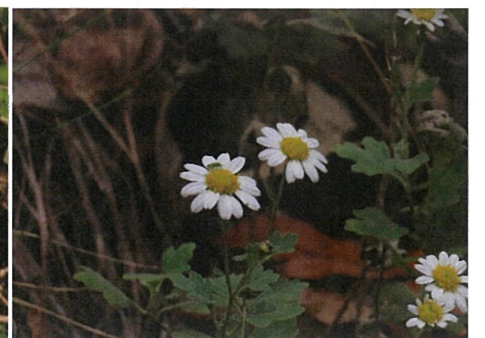
③オランダフウロ



③オランダフウロ



④マルバアサガオ



[武田先生と里山を歩こう会] 植物観察実施報告書 (2020年12月)

作成 2020年12月10日・担当 山内和孝

テーマと行先 12月の摂津峡(高槻市)の植物観察

実施日・天気 2020年12月4日(金)・晴れ(温度14℃)

コースの概要 JR高槻市駅—(市営バス)—上の口バス停→摂津峡→塚脇バス停—(市営バス)—JR高槻市駅

集合時刻・集合場所 10時5分 JR高槻市駅北バス乗り場

参加人数 先生と会員10人(新会員1名の参加あり)の11人

1. 摂津峡の概要

摂津峡は高槻市を流れる芥川上流に広がる渓谷である。芥川が長い歳月をかけて地表を削り、美しい渓谷をつくりました。

この渓谷は景勝地とされ、約4Kmにわたって奇岩・断崖・滝などが続いており、休日ともなると多くの人々で賑わいます。

摂津峡の西側(右岸)には公園が整備され、植物約420種類、昆虫、野鳥などが生息する豊かな自然の宝庫です。この時期は美しい紅葉が期待できます。



2. 観察の行程

先生と会員10人は摂津峡の玄関口である市営バス上の口バス停に10時40分に到着し下車しました。朝方はこの季節のひんやりとした寒さがありましたが、空は青空が広がり日中は気温も上がりそうです。

摂津峡への入り口までは約500mの地道をだらだらと下っていきます。左手の山の裾には赤い実をつけた「サルトリイバラ」、黒い実をつけた「スイカズラ」などが自生しています。皆の関心ごとはその実が食べられるか否かにあるようです。「チャノキ」の白い花も見ることが出来ました。

摂津峡の入り口には案内板と芥川漁業組合があり、芥川でのマス・アマゴの釣り券を販売していました。しばらく歩くと溪谷に釣り人の姿が散見されるようになりました。散策道の途中に、[日蓮宗慶住院] 向かいの民家の庭に「皇帝ダリア」が植えてあり、20センチにもなる大きな花を見ることができました。

観察会は、溪谷の西側に広がる摂津峡公園の中にあるウォーキングコースの内、ファミリー向けの〔溪谷コース〕を選択して植物の観察を行うことにしました。このコースは全長約3Kmで溪谷に沿って散策道が作られ、左手は溪谷、右手は崖で岩の崩落除けの金網が設置されており、その岩にはシダ類が多く自生していました。

しばらく歩くと「カラスウリ」が赤い実を垂らしているのを見つけました。この実を潰すと中から黒い種子が出てきて、種子の形が打ち出の小槌に似ていました。縁起物のようです。

植物観察も12時過ぎになり、[八畳岩] 近くの岩場で昼食を摂ることとなりました。頭上には紅葉真っ盛りで、溪谷の清流をオレンジ色に染めていました。木々などが紅葉するのは、急激に寒くなると黄色の色素もった【カロテノイド】、赤い色素をもった【アントシアニン】が作られて、葉が色づくようです。

約40分間の昼食を楽しんだ後、すぐに金網の中に「フユイチゴ」のルビーのような輝きのある実を見つけました。多く方がこの実(果実)を食べて、大変美味しかったとの感想でした。

[山口誓子の句碑] 付近では「マユミ」がピンクの果皮を垂らしていました。真っ赤な種は未だ出ていませんでした。

[河鹿橋] を過ぎて、13時30分に摂津峡の出口につき観察会は終わりました。会員は、晴天に恵まれて秋の紅葉を楽しみながら、シダ類を中心とした多種の植物を観察ができたことに満足しました。武田先生、有難うございました。

3. 観察できた主な植物（行程順）

スイカズラ、ネズミモチ、サルトリイバラ、テイカカズラ、コマユミ、オオベニシダ、ベニシダ、サイゴクベニシダ、ゼンマイ、チャノキ、ケヤキ、サネカズラ、コウテイダリア、マサキ、カラスウリ、マメヅタ、オオイタチシノブシダ、オオバイノモトソウ、コアカソ、センニンソウ、ハカタシダ、シャガ、イタチシダ、ナキリスゲ、オニカナワラビ、リンボク、ヤブタバコ、イワガネゼンマイ、フユイチゴ、ユキノシタ、クマワラビ、スズシロソウ、マユミ、クサギ、クズ



以 上

1	チャノキ	ツバキ科	ツバキ属	常緑低木 中国西南部からインド原産 花(10~12月 径2~3cm白い5弁の花を下向きに) 果実(熟すと3裂) 鎌倉初期栄西が持ち帰る
2	アラカン	ブナ科	コナラ属	常緑広葉樹 雌雄同株 別名クロガシ・ナラバガシ 西日本に多い 葉の先端付近のみにギザギザがあり、葉の裏には毛がある
3	スイカズラ	スイカズラ科	スイカズラ属	常緑つる性木本 在来種 春に芳香の強い特徴的な花を咲かせる 花の蜜甘い 漢方薬に利用 果実(葉腋に2個ずつ 黒く熟す)
4	ネズミモチ	モクセイ科	イボタノキ属	常緑小高木 在来種 葉(革質で厚く光沢あり) 果実(紫黒色に熟しネズミの糞を連想させる) 花(白色の小さな花を多数つける)
5	トウネズミモチ	モクセイ科	イボタノキ属	常緑小高木 中国原産 ネズミモチより葉が大きく、太陽に透かすと葉脈が見える 果実(丸みのある楕円形)
6	サルトリイバラ	サルトリイバラ科	シオデ属	つる性低灌木 雌雄異株 花(黄緑色の小さな花) 葉(餅や饅頭を包むのに使う) 果実(赤色 果実酒・生食可) 漢方薬 ルリタテハの食草
7	テイカカズラ	キョウチクトウ科	テイカカズラ属	つる性常緑低木 有毒植物 式子内親王を愛した藤原定家が忘れられなくて定家葛に生まれ変わって彼女の墓に絡みついた伝説
8	サネカズラ	マツブサ科	サネカズラ属	つる性常緑低木 別名ピナンカズラ 果実(真っ赤に熟す たくさんの小さな実が一塊の球状になりぶら下がる) 整髪料に使用
9	コマユミ	ニシキギ科	ニシキギ属	落葉低木 雌雄同株 ニシキギの翼のないタイプ 赤い実(熟すと裂開し橙赤色の仮種皮のある実をつける。)と紅葉が美しい
10	マユミ	ニシキギ科	ニシキギ属	落葉低木 雌雄異株 実(ピンク色のサイコロのよう 熟すと種子が飛び出す)と紅葉が美しい 枝(柔軟性あり 弓の材料に)
11	オオベニシダ	オンダ科	オンダ属	常緑シダ植物 在来種 草丈20~50cm ベニシダより小型で黄緑色 葉柄(わら色) 葉身(2回羽状複葉 最下羽片長い) 包膜(薄紅色)
12	ベニシダ	オンダ科	オンダ属	常緑シダ植物 在来種 草丈50~100cm 葉身(2回羽状複葉 最下羽片短い) 包膜(紅紫色) 若葉が赤いため名
13	サイゴクベニシダ	オンダ科	オンダ属	常緑シダ植物 在来種 地を這う 光沢のある暗緑色 葉身(2回羽状複葉 最下羽片小さい) 包膜(赤色)
14	ケヤキ	ニレ科	ケヤキ属	落葉高木 雌雄同株で雌雄異花 箒を逆にした樹形 鋸歯の形に特徴 紅葉が美しい 実(熟すと葉付きの枝ごと折れて飛ぶ)
15	ノブドウ	ブドウ科	ノブドウ属	つる性落葉低木 葉と対生して2又の巻きひげをだす 果実(淡紫色から空色 ピンクに)
16	マサキ	ニシキギ科	ニシキギ属	常緑低木 高さ2~6m 潮風や公害に強い 葉(厚い皮質 光沢あり) 果実(熟すと果皮が4裂し種子をぶら下げる)
17	カラスウリ	ウリ科	カラスウリ属	つる性多年草 雌雄異株 花(日没後白いレースを広げたようにさく1日花) 果実(雌株のみ) 種(大黒様や打ち出の小槌と言われる)
18	ウツギ	アジサイ科	ウツギ属	落葉低木 樹高2~4m 別名卵の花 木の内部が空洞なので空木となった 万葉集や唱歌に詠われる 葉(対生 楕円で先尖り有毛)
19	ヤブソテツ	オンダ科	ヤブソテツ属	常緑性シダ植物 草丈50~100cm 在来種 葉(厚い紙質で光沢無し) ソーラス(円形 全面に散在する) 包膜(灰白色 ヘそが無い)
20	ミヤコヤブソテツ	オンダ科	ヤブソテツ属	常緑性シダ植物 好石灰岩植物 葉(単葉状複葉 光沢無し 独特の白緑色) ソーラス(円形 全面に散在する) 包膜(灰白色 ヘそが有る)
21	マメツダ	ウラボシ科		常緑性着生シダ植物 葉(水を蓄えた丸形の栄養葉とへら型の胞子葉の2形)
22	オオイタチシダ	オンダ科	オンダ属	常緑性シダ植物 草丈0.5~1.2m 在来種 変種が多い 葉(硬い紙質で光沢あり 最下の羽片が最も大きい) ソーラス(小型の円腎形)
23	オオバイノモトソウ	イノモトソウ科	イノモトソウ属	常緑性シダ植物 草丈20~60cm 在来種 葉(栄養葉と胞子葉の2形 単羽状葉) 中軸に翼無し ソーラス(縁に付く) 鹿が食べない
24	センニンソウ	キンポウゲ科	センニンソウ属	常緑つる性半低木 別名ウマクワズ 有毒 白い十字のガク片 果実から伸びる白い面毛を仙人の髭に例えた名 クレマチスの仲間
25	ポタンヅル	キンポウゲ科	センニンソウ属	落葉つる性半低木 在来種 3枚葉の様子がボタンに似てることからの名 有毒 白い十字のガク片 クレマチスの仲間
26	カザグルマ	キンポウゲ科	センニンソウ属	落葉性つる性多年草 在来種 国の絶滅危惧種II類 葉(羽状複葉) 花弁のように見える8枚のガク片
27	ダイモンジソウ	ユキノシタ科	ユキノシタ属	多年草 草丈5~30cm 在来種 花が「大」の字に似ることから付いた名
28	コアカソ	イラクサ科	カラムシ属	落葉性半低木 高さ0.5~3m 在来種 茎や花序のいろが赤い 雌雄同株 雌雄異花 茎(下部が木質化) 葉(先が分れず菱形)
29	ハカタシダ	オンダ科	カナワラビ属	常緑性シダ植物 在来種 草丈50~100cm 葉に斑入りが多く博多織に似ていることの名 葉(2回羽状複葉 先が尖る)
30	ヤマイタチシダ	オンダ科	オンダ属	常緑性シダ植物 在来種 草丈40~70cm 葉(暗緑色 光沢無し 革状革質 最下羽片が最も大きい) ソーラス(大型の円腎形)

31	メダケ	イネ科	メダケ属	多年性常緑笹 在来種 3~5 m 筍皮(落ちずに稈に残る) 稈(粘り強い) 葉(垂れ下がるのが特徴) 農業・建築・漁業に利用されていた
32	ナキリスゲ	カヤツリグサ科	スゲ属	常緑多年草 草丈40~80cm 在来種 葉が硬く葉が切れそうなことから名 根茎(叢生) 葉(2~3mmの線形) 秋に開花
33	ニシノホンモンジスゲ	カヤツリグサ科	スゲ属	半常緑多年草 草丈30~50cm 日本固有種 東京池上の本門寺より西日本に多いことからの名 根茎(叢生) 葉(2~3mmの線形) 春に開花
34	オニカナワラビ	オンダ科	カナワラビ属	常緑性シダ植物 在来種 草丈50~100cm 葉(濃緑色 光沢のある革質 2回羽状複葉 最下羽片が長い) ソーラス(円腎形)
35	ヒメカナワラビ	オンダ科	イノデ属	常緑性シダ植物 在来種 草丈40~60cm 根茎(斜上する) 葉(光沢あり 硬い 硬紙質~やや革質 2回羽状複葉) ソーラス(円形)
36	リンボク	バラ科	サクラ属	常緑小高木 日本固有種 別名ヒイラギガシ ヒイラギより葉質が薄く刺が細く鋭い 花(秋に穂状の白い花)
37	ヤブタバコ	キク科	ガンクビソウ属	1~越年草 草丈50~100cm 在来種 根生葉や下部の葉がタバコの葉に似ることからの名 長い枝を四方に伸ばす姿が特徴的 引っ付き虫
38	イワガネゼンマイ	ホウライシダ科	イワガネゼンマイ属	常緑性シダ植物 在来種 草丈70~140cm 根茎(匍匐) 葉(単羽状葉 葉先が急に細くなる) ソーラス(平行の葉脈に沿う線形)
39	イワガネソウ	ホウライシダ科	イワガネゼンマイ属	常緑性シダ植物 在来種 草丈70~140cm 根茎(匍匐) 葉(1~2回羽状複葉 脈は網目 葉先が次第に細くなる) ソーラス(網目状に結合)
40	フユイチゴ	バラ科	キイチゴ属	つる性常緑小低木 草丈30cm 在来種 茎(短毛密生) 葉(互生) 花(白色5弁花) 果実(直径1cm 12月に赤く熟す 生食可)
41	ユキノシタ	ユキノシタ科	ユキノシタ属	常緑多年草 草丈20~60cm 花(ダイヤモンドソウに似る) 葉(腎心形 葉脈に沿って白く斑が入る 粗毛あり) 民間薬・食用
42	クマワラビ	オンダ科	オンダ属	常緑性シダ植物 草丈40~80cm 在来種 根茎(太く直立) 葉身(やや厚い紙質 2回羽状複葉) ペニシダの仲間
43	イロハモミジ	ムクロジ科	カエデ属	落葉高木 在来種 雌雄同株 新緑・紅葉時の代表 太平洋側の暖温帯に生育 葉(掌状に5~7裂) 翼果
44	スズシロソウ	アブラナ科	ハタザオ属	多年草 草丈10~25cm ダイコンの花に似る事からの名 急傾斜地や崖に生育 匍匐枝を出す 花(4弁の白色) 葉(へら型 星状毛)
45	クサギ	シソ科	クサギ属	落葉小高木 葉に悪臭があることからの名 青黒く光沢のある果実とまわりの赤く星形のガクとのコントラストが美しい
46	クズ	マメ科	クズ属	つる性多年草 秋の七草の1つ かつては飼料としたりツルを結束に用いたり葛布を織ったり葛粉の採集などに利用 現在では厄介者
47	ウメノキゴケ	ウメノキゴケ科	ウメノキゴケ属	地衣類 大気汚染の指標とされる 見た目はコケ、中身は菌類で内部は共生藻 藻の光合成で菌類が生き菌は窒素やリンを集める



①イロハモミジ



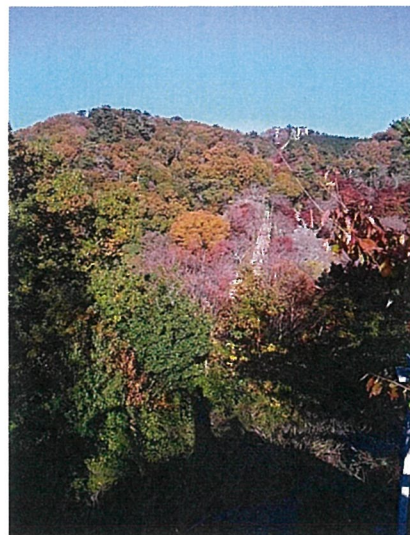
②サネカズラ



③ネズミモチ



④フユイチゴ



武田先生と里山を歩こう会 三木山公園 (4回)

2021 3月12日(金) 神戸電鉄恵比寿 10時10分

参加人数 9名 天気 晴れのち曇りのち雨

3月の例会は、5日のスケジュールだったが悪天候為12日に変更。

神戸電鉄恵比寿駅前から、ミッキイバスに乗り三木山公園前下車(¥210)

三木山公園について

もともと里山林。三木市の丘陵地ははげ山だった。

三木市の植物を、もってきて植林した。

アラカシ(ブナ科)が茂ると林が暗くなるので大きくなるまでの手入れが必要になる。

ベニシダ(オシダ科) 同じ葉に孢子をつける。

シシガシラ(ウラボシ科) 孢子をつけない。茶色が孢子葉 シダ類では雌雄異種はない。植物は自分で栄養を作ることには出来ない。

雷の多い年は豊作。

落ち葉～土壌～有機物 (土壌細菌)

コバノミツバミツバツツジ (ツツジ科) 伐採に強い

ヤマコウバシ(クスノキ科) 葉は枯れても木に着いているが、新しい葉が出ると落ちる。

ネズミサシ (ヒノキ科) はげ山に多い

モチツツジ (ツツジ科) 暖かいと葉を落とさない。

モミジバフウ(フウ科)

アセビ (ツツジ科)

地衣類 陽当たりのいい所につく。

リョウブ (リョウブ科) 枝を視ると花軸分枝。

アオハダ (モチノキ科) 木肌の中は青

ヤマナラシ (ポプラの仲間) 葉柄がたいら。

ジンチョウゲ(ジンチョウゲ科)

シャリンバイ（バラ科）潮風にも強く緑地帯・公園に植えられている。
オオイヌノフグリ（オオバコ科）越年草。

公園内での観察中、雨も降らず天気にも恵まれました。
前回の三木山公園は、秋の植物が多く観察することができ、この度は早春の季節に参加することが出来ました。次回には、紅葉の頃楽しみにしています。

昼食は、旬彩レストランで会食以外はマスク着用、手袋（ゴム）着用。

あせび

磯のうへに 生ふる馬酔木を 手折らめど 見すべき君が ありと言はなくに
大来皇女（巻二 一六六）

池水に 影さへ見えて 咲きにはふ 馬酔木の花を 袖に扱入れな
大伴家持（巻二〇 四五―二）

1	オカメザサ	イネ科	オカメザサ属	多年性常緑タケ類(成長に伴って鞘がすぐに剥がれる) 日本原産 高さ1~2m 1属1種 戎神社の西の市で緑起物を吊り下げたからの名
2	ネザサ	イネ科	メダケ属	ササ類(鞘が離脱しないで残る) 日本固有種 高さ1~3m 繁茂すると林床の草花は生きていけない 中を分けるとダニが付く可能性大
3	オオイヌノフグリ	オオバコ科	クワガタソウ属	越年草 ヨーロッパ原産 イヌノフグリに似て大きいことからの名 草丈10~20cm 明治初年に帰化 花(増殖色)
4	ベニシダ	オンダ科	オンダ属	常緑シダ植物 在来種 高さ(50~120cm) 葉(長さ50cm 幅20cm 2回羽状複葉) 若葉は赤いためこの名 ソーラス(葉につける 包膜は紅紫色)
5	カンサイタンポポ	キク科	タンポポ属	多年生植物 セイヨウタンポポに比べて頭花が小さく、小花の数が少ない 総苞片(反り返らない)
6	ヤマコウバン	クスノキ科	クロモジ属	常緑低木 雌雄異株 葉(揉むと芳香あり) 特徴(独特なオレンジ色に紅葉 枯葉を付けたまま越冬 3行脈ではない)
7	シシガシラ	シシガシラ	ヒリュウシダ属	常緑シダ植物 日本固有種 高さ(20~40cm) 太い根茎 葉(放射状に叢生 栄養葉と孢子葉を形成)
8	シナノキ	シナノキ科	シナノキ属	落葉高木 日本特産種(北海道に多い) 葉(ハート形 左右非対称) 内皮(シナ布 アイヌが衣類や織物を作った) 良質の蜂蜜が採れる
9	ジンチョウゲ	ジンチョウゲ科	ジンチョウゲ属	常緑低木 別名チンチョウゲ 中国南部原産 雌雄異株 花(上品な芳香 小さな花が手目梨状に付く) 有毒 室町時代以前に渡来
10	コバノミツバツツジ(写真②)	ツツジ科	ツツジ属	落葉低木 高さ(1.5~4m) 日本固有種 葉(枝先に菱形3個輪生) 花(3~5月に開花 薄紫色 10本の雄蕊) 西宮の廣田神社が有名
11	モチツツジ	ツツジ科	ツツジ属	落葉低木 別名ピロードツツジ 日本固有種 木全体に毛が多い(虫の攻撃から防御) 花(雌蕊1本雄蕊5本) 葉(暖かいと葉を落とさない)
12	アセビ(写真①)	ツツジ科	アセビ属	常緑低木 漢名(馬酔木) 花(白く小さな壺状の花を房状に付ける) 有毒(葉を煎じて殺虫剤に) 鹿が食べない
13	エンピツビャクシン	ヒノキ科	ビャクシン属	常緑針葉樹 北アメリカ原産 雌雄異株 葉(鱗片状で十字対生) この木から鉛筆を作ったことからの名 シーダー油
14	ネズミサシ	ヒノキ科	ビャクシン属	常緑針葉樹 在来種 雌雄異株 葉(3個ずつ輪生 断面三角 表に深い溝 裏に白色の気孔帯)
15	シャリンバイ	バラ科	シャリンバイ属	常緑低木 和名車輪梅 自生は暖地の海岸近く多い 花(白~ピンク色5弁花が円錐状に) 樹皮(奄美大島の大島紬の染料なる)
16	モミジバフウ	フウ科	フウ属	落葉高木 別名アメリカカフウ 北米中米原産 葉がモミジに似るだけでマンサクの仲間 紅葉美しいグラデーション 果実(棘あり堅い)
17	アラカシ	ブナ科	コナラ属	常緑高木 雌雄同株 ドングリがなる木の代表 葉(互生 緑の上半分に粗くて大きな鋸歯) 果実(その年の秋 同心円状に横しま)
18	コウヤミズキ(写真④)	マンサク科	トサミズキ属	落葉低木 花(葉の展開前に4~5個 黄色 葯は暗紫色 花序の軸無毛 雄蕊と葉弁の長さ同じ) 葉身の長さ6~12cm 高野山が発見地の1つからの名
19	トサミズキ	マンサク科	トサミズキ属	落葉低木 花(葉の展開前に黄色の花を7~8個 葯は暗紫色 雄蕊と葉弁の長さ同じ 花序の軸毛が密生) 葉身の長さ5~11cm 自生地が土佐で水っぽい木からの名 株立状樹形 蛇紋岩残存植物
20	ヒュウガミズキ	マンサク科	トサミズキ属	落葉低木 花(葉の展開前に黄色の花を1~3個 葯は黄色 雄蕊と葉弁の長さ花弁の方が長い) 葉身の長さ2~3cm 別名イヨミズキ・ヒメミズキ 九州日向とは無関係
21	コブシ(写真③)	モクセイ科	モクレン属	落葉高木 両性花 花(早春他の木々に先駆けて6~10cmの白い花を楕一杯に 基部に小型の1枚の若葉をつける) 実(10cmの集合果)
22	アオハダ	モチノキ科	モチノキ属	落葉高木 雌雄異株 幹(薄い樹皮を剥くと内部が青色) 枝(1年枝が長枝、2年枝は短枝に) 葉(短枝の先に束生) 果実(赤色)
23	ソヨゴ	モチノキ科	モチノキ属	常緑小高木 雌雄異株 別名フクラシバ 葉(周辺が波打つ タンニンが多い) 果実(サクランボのようにぶら下がる)
24	ナナミノキ	モチノキ科	モチノキ属	常葉高木 雌雄異株 赤い実が多数つくことからの名 別名ナナメノキ(枝を折ると一様に斜めに割れるので) 葉(皮質で光沢あり)
25	ヤマナラシ	ヤナギ科	ヤマナラシ属	落葉高木 雌雄異株 種子(綿毛を持ち拡散) 葉(三角形に近いハート形) 葉柄(断面が扁平で多方面からの風や光合成に対応)
26	カワヤナギ	ヤナギ科	ヤナギ属	落葉小高木 別名ナガバカワヤナギ 雌雄異株 日本固有種 樹高3~6m 水湿地に生育 柳絮が風に乗って飛散
27	ヤマモモ	ヤマモモ科	ヤマモモ属	常緑高木 雌雄異株 中国日本原産 葉(枝の先に束生状に) 果実(暗赤色 日持ちしないのでジャムや果実酒に) 根粒菌と共生
28	リョウブ	リョウブ科	リョウブ属	落葉小高木 別名ハタツモリ 幹(株立ち状 樹皮は鹿子模様で美しい) 葉(互生 先端に集まる) かつて飢饉時に重要な救荒食

鳥類

29	カワセミ	カワセミ科	カワセミ属	留鳥 水辺に生息 体長17cm 水面を直線飛行する青緑の宝石 雌の嘴は赤い口紅を塗ったよう
30	ジョウビタキ	ツグミ科	ジョウビタキ属	渡り冬鳥 全長14cm オレンジのお腹とシルバークレイの帽子 雌雄共に翼の白斑が特徴
31	シロハラ(写真⑤)	ヒタキ科	ツグミ属	渡り冬鳥 体長24cm 全身が灰褐色 嘴と脚が発達した体形 腹は白っぽいことからの名 暗い場所を好む
32	ツグミ	ヒタキ科	ツグミ属	渡り冬鳥 体長24cm 白っぽい肩で胸に斑模様 採餌中にしきりに胸をそらせる 食性は昆虫・果実など



①アセビ



②コバノミツバツツジ



③コブシ



④コウヤミズキ



⑤シロハラ

武田先生と里山を歩こう会（2020年度 年間活動実績）

	行く先 [行事]	集 合	備考
4月 3日 (金) [会員総会 含む]	「北山貯水池～甲山森林公園」 北山貯水池B.S～北山貯水池（総 会）～甲山森林公園～阪急仁川駅	J R 西宮駅・北口バスターミナル；10時10分 （阪神バス鷺林寺線－東回り10時17分発乗車 －北山貯水池；10時38分着－220円）	2019年度 実施ルート（半分） 歩行4km,高低差－200m
5月 8日 (金)	「神戸市立森林植物園」	神戸電鉄北鈴蘭台駅；9時55分 （無料送迎バス10時05分発乗車）	新規
6月 5日 (金)	「丸山湿原」 西谷の森公園口B.S～丸山湿原～西 谷の森公園口B.S	JR武田尾駅；10時25分 （阪急バス上佐曾利行き10時35分発乗車 －西谷の森公園口；10時45分着－340円）	2019年度実施ルート 歩行4～5km （トキノウ期待）
7月	「夏休み」	－	
8月 7日 (金)	「剣谷湿原」 奥池B.S～観音山～剣谷湿原～ゴロ ゴロ岳～奥池B.S	J R 芦屋駅南口；9時20分 （阪急バス80番山口営業所前行き9時33分発乗車 －奥池；9時52分着－380円）	2019年度実施ルート 歩行5km,高低差±100m （サギソウには早いかな？）
9月 4日 (金)	「押部谷～木津」 （6/5－A案採用の場合） 押部谷駅～天一神社 ～顕宗仁賢神社 （～神戸環境未来館）～木津駅	神戸電鉄押部谷駅；10時00分	新規 歩行7km(10km) 途中神鉄駅へエスケープ可
10月 16日 (金)	「神戸市立森林植物園」 台風のために10/2を変更して開催	神戸電鉄北鈴蘭台駅；9時55分 （無料送迎バス10時05分発乗車）	新規 *「中山寺奥の院」を 変更して、総会開催
11月 6日 (金)	「有馬富士公園」 新三田駅～有馬富士公園 ～新三田駅	J R 新三田駅；10時00分	2019年度実施ルート 歩行4km
12月 4日 (金)	「摂津峡」 上の口B.S～摂津峡～塚脇B.S	J R 高槻駅北バスのりば；10時05分 （高槻市バス54番上の口行き10時15分発乗 車－上ノ口10時35分着－220円）	新規（紅葉期待） 歩行4km,高低差-70m
1月	「冬休み」	－	
2月 5日 (金)	「昆陽池公園」 昆陽池公園	阪急伊丹駅4番バス乗り場；10時10分 （伊丹市バス17番西野武庫川センター行き10時16分 発乗車－昆陽池公園前；10時23分着－210円）	新規 歩行2～3km
3月 5日 (金)	「三木山森林公園」 （昼食；和食バイキングレストラ ン－1500円－飲み物別）	神戸電鉄恵比須駅；10時10分 （三木市バス59番三木営業所行き10時16分発乗車 －森林公園；10時24分着－210円）	2019年度実施ルート

色付き部分は、新型コロナウイルス感染防止のために中止